

我が国の地球観測の今後の計画に対するパネルディスカッション  
モデレーター： 岩崎晃 実利用WG長、祖父江真一 TF事務局

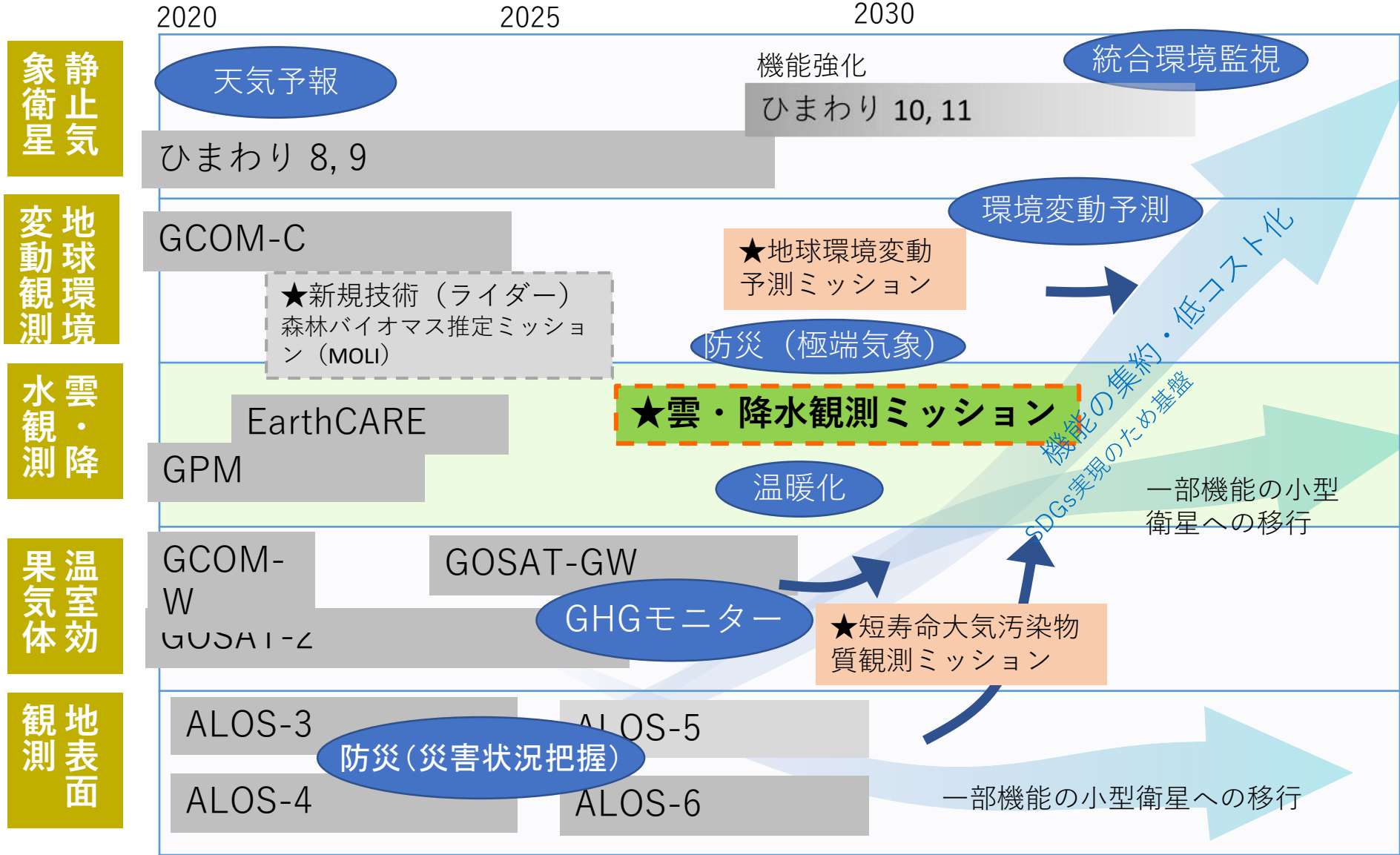
- 中須賀真一 東京大学教授（宇宙政策委員）
- 本多嘉明 千葉大学准教授（科学高度化WG）
- 新井邦彦 B I Z E A R T H（実利用WG）
- 高薮縁 東京大学教授（日本学術会議）
- 新井元行 シンスpekティブCEO
- 平林毅 J A X A地球観測統括

# 地球観測衛星ロードマップ

日本の地球観測衛星はSDGs実現のための社会基盤となるべき

★：早期に実施すべき  
ミッションとして掲載

- ◆ 防災（地震・火山・台風・水災害（洪水、土砂崩れ）等）
- ◆ 地球規模課題解決（地球温暖化・温室効果ガス・越境大気汚染）



# パネルの論点

- ① TFの進めるロードマップおよびグラウンドデザインに対するご意見  
政府、JAXA、ニュースペースからみた場合のグラウンドデザイン・  
ロードマップのミッション提案の優先度（時間的あるいは意義価値的）  
等へのご意見・提案
- ② 日本の地球観測計画に関する議論の場の在り方について  
日本としての議論を進める母体としてTFと宇宙政策委員会、JAXA、  
BIZ EARTHあるいは他のフレームワークとの連携に対するご  
意見・ご提案（例：将来ミッションの優先度等に対する議論をするた  
めの枠組みの在り方と国の施策へのご提案など）
- ③ そのほか。TF活動への期待（例：人材育成・確保、国際協力など）

# グラントデザインの改訂に対する合意内容の確認

- 2025年に世界潮流として小型コンステの完成を考慮にいれること
- オープンデータ化、情報提供も踏まえた検討をすること
- 実利用連絡会での利用分野ごとの検討を、ロードマップの改訂に考慮すること
- 産学官の対話と、特に官のセンサー、ミッションを担いでもらえる機関、並びに国際的な連携・分担を優先度設定には考慮すること
- 高度化WGの提案および実利用連絡会のニーズを踏まえ、時間的な優先度の中で、短期のロードマップの見直しを実施→TF幹事会での確認後、JpGUでの大型研究計画として発表。2月17日までに投稿。